

キリストに捕らわれて <まとめ1>

シリーズ ～
コロサイの信
徒への手紙～

201/11/9

コロサイ教会を襲った間違った教え

① グノーシス主義

「人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。」(2:8)

■ 知性(理性)の優位性

- 人間は「グノーシス(靈知)」を持つことで解放される
- ? キリストの十字架による贖罪

■ 二元論

- 霊は善,物質は悪
- → 神の御子の受肉,キリストの神性
- ? 実際生活と信仰の乖離(かいり)

コロサイ教会を襲った間違った教え

① 律法主義(ユダヤ主義)

「『手をつけるな。味わうな。触れるな』などという戒律に縛られているのですか。」(2:21)

「独り善がりの礼拝、偽りの謙遜、体の苦行を伴っていて、知恵のあることのように見えますが」(23)

■ 律法(伝統)の優位性

- キリストの十字架の贖いによって救われても「律法」は守り続けなければならない
- ? キリストの十字架による贖罪

■ 行動の優位性

- 難行苦行によって徳を高める
- ? 信仰より行動

キリストの絶対的優位性

- イエス・キリストは神であり、創造主である
 - 「天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られたからです。つまり、**万物は御子によって、御子のために造られました。御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。**」(1:16-17)

十字架の贖罪の完全性

- 知恵によってでも、行動によってでもなく、キリストの死によって救われる
 - 「罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださったのです。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」
(2:13-14)

キリストによって成長する

- 知恵によってでも行動によってでもなく、キリストによって成長する
 - 「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝なさい。」(2:6-7)
 - 「古い人をその行いと共に脱ぎ捨て、造り主の姿に倣う新しい人を身に着け、日々新たにされて、真の知識に達するのです。」(3:9-10)

キリストに捕らわれて

「わたしパウロが、自分の手で挨拶を記します。わたしが捕らわれの身であることを、心に留めてください。恵みがあなたがたと共にあるように。」(4:18)

- パウロは物理的に拘束されて、「捕らわれの身」であるが、実はキリストに捕らわれている!
- 私たちは＜実は＞様々なもの＜情報・知識・伝統・経験・直感・・・＞に捕らわれている
- 私たちを捕らえているものは本当に正しいのだろうか? → **何が起ころうとも揺るがないか?**

安心の一枚



いつも迷っている

